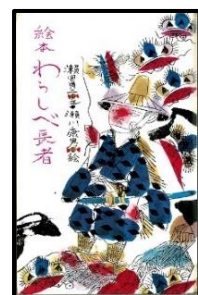


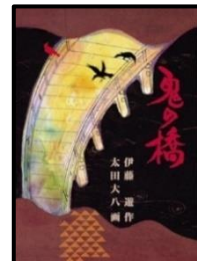


「かえるのごほうび」
木島 始／さく
梶山 俊夫／レイアウト
福音館書店（EA カ）

今日は森のお祭りです。うでくらべや力くらべが始まって、かえるとうさぎがすもうをとっています。かえるがうさぎを投げとばして、いっとうしょう！お祭りもおしまい、と思ったら「じけんだじけんだ、たいへんだ！」という声が。さて、何が起きたのでしょうか？平安時代に描かれた絵巻「鳥獣戯画」の絵本です。



「絵本わらしべ長者」
瀬田 貞二／文
瀬川 康男／絵
岩波書店（EA セ／MEA セ）



「鬼の橋」
おに はし
伊藤 遊／作
太田 大八／画
福音館書店
（1-イ／TF イトウ）

舞台は平安時代。古井戸からあの世の入口に迷いこんでしまった貴族の少年・篁は、この世とあの世をつなぐ橋の上で、恐ろしい鬼に出会います。さけび声をあげたその時、目の前に死んだはずの将軍・坂上田村麻呂が現れます。実在した人物、小野篁を主人公にした歴史ファンタジーです。



いにしえを知る その2

～昔話、古典文学、平安文化など～

たんた新聞とは…

子ども向けに発行している図書館の新聞です。昨年に続き、「秋のたより」の合併号として、いにしえの世界を舞台にした子どもの本を紹介します。



「かぐやひめ」
円地 文子／文
秋野 不矩／絵
岩崎書店（EA ア）

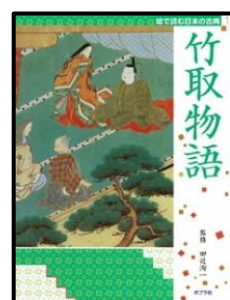
ある日、おじいさんが竹やぶに行くと、光っている竹があり、中には小さな女の子がいました。女の子はかぐやひめと名づけられ、美しく育ちました。そこへ5人の男の人がかぐやひめをおよめさんにほしいとあらわれます。およめさんになるつもりのないかぐやひめは、それぞれにとてむずかしい注文を出しました。



「かえるの
たけとり
竹取ものがたり」
俵 万智／文
斎藤 隆夫／絵
福音館書店（EA サ）



かぐやひめをはじめ、登場人物がみんな「かえる」で描かれた、ひと味ちがう「竹取ものがたり」の絵本です。絵を見るだけでも楽しめるので古典文学をはじめて読む人にもおすすめです。



もっとくわしく
知りたい人へ



「絵で読む日本の古典1
たけとりものがたり
竹取物語」
田近 洵一／監修
ポプラ社（918-エ）



時代ごとに移り変わってきた着物文化にふれてみよう



「着物の大研究」
馬場 まみ／監修
PHP 研究所（593）

たんた新聞

号外

たんた新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
TEL 04-7184-1110

我孫子市民図書館

令和6年10月27日発行

秋のたより

発行 我孫子市民図書館
〒270-1147
我孫子市若松 26 の 4
電話 04-7184-1110



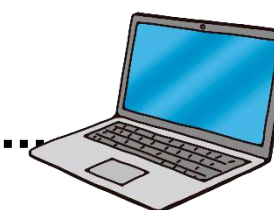
この一行に 逢いにきた

2024・第78回 読書週間
10/27～11/9



あびこ電子図書館サービス

をご利用ください



市民図書館では、10月1日より、パソコンやスマートフォン、タブレット等を使って電子書籍の閲覧・貸出ができるサービスをはじめました。

利用対象者



我孫子市に在住・在勤・在学の個人のみ、貸出できます。

利用カードをお持ちでない方は、市内の図書館で登録をお願いします。

利用案内



貸出点数 ひとり2点まで

貸出期間 2週間

貸出には利用カードとパスワードが必要です。

期間が過ぎると自動返却され、来館は不要です。



あびこ電子図書館の特徴



- ◆ いつでもどこでも24時間利用できます。
- ◆ 文字の大きさの変更や、読み上げ機能を使用できます。
- ◆ 本や雑誌など市販の電子書籍のほかにも、我孫子市を知るための「あびこデジタル郷土資料」のページも公開しています！



図書館のホームページより、あびこ電子図書館のバナーをクリックしてください！
<https://www.library.city.abiko.chiba.jp/>



平安文学を深めよう

～古典を楽しむ Part2～

大河ドラマ「光る君へ」でおなじみの『源氏物語』など、平安文学を読み深める本をご紹介します。当時の貴族の暮らしぶりを知ること、平安時代の文化への理解が深まり、さらなる魅力に気づけるかもしれません。秋の夜長に平安時代にタイムスリップしてみたいかがでしょうか。

源氏物語

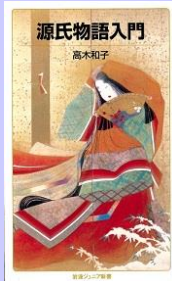
作者：紫式部

瀬戸内 寂聴、林 望、円地 文子、谷崎 潤一郎といった作家たちによる現代語訳版も数多くあります。

『源氏物語入門』 高木 和子／著 岩波書店

「いい家のお嬢さんはもてるのか？」
「源氏物語って不道德な話なの？」など、幅広いテーマから源氏物語の魅力を読み解く。

現代とは異なる当時の貴族社会への理解が深まり、今も変わらない人間の心理に共感しながら源氏物語を楽しめる。



『ミライの源氏物語』山崎 ナオコーラ／著 淡交社
『源氏物語解剖図鑑』佐藤 晃子／文 エクスナレッジ
『源氏物語絵巻』新人物往来社／編 新人物往来社
『源氏物語に学ぶ美しい日本語』齋藤 孝／著 ビジネス社
『嫉妬と階級の「源氏物語」』大塚 ひかり／著 新潮社
『深掘り！紫式部と源氏物語』中野 幸一／著 勉誠社

『紫式部』 清水 好子／著 岩波書店



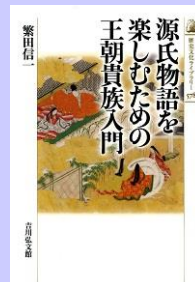
『紫式部集』とよばれている紫式部の詠んだ歌 1260 首をまとめた歌集をもとに、紫式部について分析する。

母や姉の死を経験した娘時代、夫の死後の歌の変化など、紫式部という生身の人間の人生を知ること、より身近に感じることができる。

『源氏物語を楽しむための王朝貴族入門』

繁田 信一／著 吉川弘文館

源氏物語が生まれた時代の王朝貴族はどんなところに住み、どんな生活を送っていたのか。物語と史実の違いに触れつつ、知識をもとに源氏物語への理解を深めることができる王朝貴族の入門書。登場人物の背景を知るとより深く物語を味わえるようになる。



枕草子

作者：清少納言

『枕草子』 山口 仲美／著 NHK出版

清少納言はどこがすごいのか分かる一冊。『枕草子』が書かれた背景や、清少納言の人物像などの基本的なことが分かる章、『枕草子』に書かれた魅力的な人、マナーのない人などテーマ別に書かれた章があり、初めて興味を持った方におすすめ。

また、紫式部や和泉式部の作品と比較しており、それぞれの個性と魅力を知ることができる。



『はなとゆめ』沖方 丁／著 KADOKAWA

清少納言が宮仕えを始める頃からのお話。憧れの宮中での生活に気後れしながらも、中宮定子様のお導きにより、宮仕えに慣れていく。中宮様の期待に応えるため、彼女は歌の知識で機転をきかす。いつしか彼女は認められ、中宮様より白い紙の束を託され、『枕』が生まれることとなる。清少納言の中宮様への深い敬愛が伝わってくる。

『「枕草子」の歴史学』五味 文彦／著 朝日新聞出版
『すらすら読める枕草子』山口 仲美／[著] 講談社
『枕草子の楽しみかた』林 望／[著] 祥伝社

～平安文学を深める本はまだまだあります～

【竹取物語・伊勢物語】『日本の古典をよむ 6』小学館
【小右記】『小右記』藤原 実資／記 KADOKAWA
【大鏡・栄花物語】『日本の古典をよむ 11』小学館
【蜻蛉日記】『わたしの蜻蛉日記』瀬戸内 寂聴／著 集英社
【今昔物語】『今昔物語絵双紙』田辺 聖子／文 KADOKAWA
【古典全般】『リンボウ先生のなるほど古典はおもしろい!』林 望／著 理論社



～暮らし～

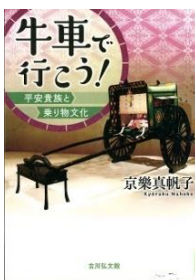
『平安貴族サバイバル』木村 朗子／著 笠間書院



現代社会でも話題に上がる女性の社会進出や同性愛などといったテーマについて、源氏物語を中心とした平安文学を例に、当時の宮廷社会にも似た側面があると考察している。

平安文学に造詣が深い方でも、新しい視点から読み進めることができる。

『牛車で行こう!』 京樂 真帆子／著 吉川弘文館



平安貴族にとって日常の乗り物であった牛車。牛車を描写した文章は、乗る人の身分や財力、人脈、時に思惑や偽装など、文字以上の情報を語っている。この本を読めば、様々な古典文学・絵巻物・貴族の日記に登場する牛車を深読みしたくなること間違いなし。

『紫式部と清少納言が語る平安女子の暮らし』

鳥居本 幸代／著 春秋社

『年中行事百科』八條 忠基／著 淡交社

～装束～

『日本服飾史 女性編』 井筒 雅風／著 光村推古書院



『日本の装束解剖図鑑』 八條 忠基／著 エクスナレッジ

～和歌～

『古典和歌入門』 渡部 泰明／著 岩波書店

